



有機農業だより

第 3 号

「有機農業オープンフィールド」の取り組み

山形県では、県内 5ヶ所に「有機農業オープンフィールド」という水田を設置し、有機栽培農家と大学・県試験場等の研究者、JA や農業技術普及課等の技術者が有機栽培技術の課題解決や体系構築について一緒に検討し、産地としての普及拡大を目指しています。

今年度、庄内地域では、鶴岡市鷺畑の「カモ農法」による有機栽培ほ場を「有機農業オープンフィールド」とし、様々な調査や現地検討会を行いました。



稲刈り直前の「有機農業オープンフィールド」

平成 21 年度鶴岡市鷺畑の「有機農業オープンフィールド」の概要

【品 種】「つや姫」（5 月 16 日田植え）

【施肥等】育苗期：有機質肥料（窒素 3.5g/箱、リン酸 5.4g/箱、カリ 1.6g/箱）

本田期：豚ふん堆肥（500kg/10a、11 月散布）

米ぬかボカシ（150kg/10a、11 月散布）

【その他】マガモ放飼による除草・害虫駆除を実施



「有機農業オープンフィールド」 現地検討会

7 月 29 日に行った現地検討会では、有機栽培農家、研究者、技術者が 25 名集まり、意見交換を行いました。有機農業はまだ課題も多くありますが、来年に向けて「水稻有機栽培マニュアル」の作成に取り組もうということになりました。